

答えと かいせつ

Q 31 流れる水が地面や岩石をけずる働きを何といいますか？

1. 堆積 (たいせき) 2. 運搬 (うんぱん) 3. 浸食 (しんしょく)

こたえ 3

流れる水には、川岸や川底の土や岩石をけずり取る力があります。この働きを浸食といいます。水の流れが速いほど、浸食する力は強くなります。

Q 32 流れる水が、けずり取った土や砂、石などを下流へ運ぶ働きを何といいますか？

1. 浸食 (しんしょく) 2. 運搬 (うんぱん) 3. 堆積 (たいせき)

こたえ 2

流れる水は、浸食によってけずり取った土砂 (土や砂、れきなど) を、流れに乗せて下流へと運びます。この働きを運搬といいます。水の流れが速いほど、大きな石も運ぶことができます。

Q 33 流れる水の力が弱くなった場所で、運んできた土砂が積もる働きを何といいますか？

1. 堆積 (たいせき) 2. 浸食 (しんしょく) 3. 運搬 (うんぱん)

こたえ 1

川の流れがゆるやかになったり、海や湖に出たりするところでは、水の力が弱まり、運んできた土砂を運びきれなくなって積もらせます。この働きを堆積といいます。

Q 34 実験で、流れる水の働きを調べるとき、水の量や流す板の傾きを変えると、何がかわるでしょう？

1. 土の種類 2. 水の働き (浸食・運搬・3. 実験する時間  
堆積) の強さ

こたえ 2

流れる水の実験では、水の量を増やしたり、板の傾きを大きくしたりすると、水の流れる速さや勢いが変わります。それによって、土をけずる力 (浸食)、運ぶ力 (運搬)、積もらせる様子 (堆積) がどのように変化するかを調べることができます。

Q 35 川の上流で見られる石は、どのような形や大きさのものが多くでしょう？

1. 小さくて丸い石 2. 大きくて角ばった石 3. 砂や泥

こたえ 2

川の上流は、山の斜面が急で流れが速いため、大きな石が多く見られます。これらの石は、けずられて間もないため、角ばっていることが多いです。

Q 36 川の下流で見られるものは、どのようなものが多くでしょう？

1. 大きくて角ばった石 2. 中くらいの丸い石 3. 細かな砂や泥

こたえ 3

川の下流は、流れがゆるやかになるため、運ばれてきた土砂のうち、細かな砂や泥が堆積しやすくなります。石はあっても小さく、長距離を運ばれるうちに角が取れて丸くなっています。

Q 37 川がカーブしているところでは、カーブの外側と内側で水の働きはどう違うでしょう？

1. どちらも同じ働き 2. 外側は浸食されやすく、  
内側は堆積しやすい 3. 外側は堆積しやすく、  
内側は浸食されやすい

こたえ 2

川がカーブしているところでは、流れが速くなる外側の岸は水にけずられやすく (浸食)、流れがゆるやかになる内側の岸には土砂が積もりやすく (堆積) になります。

Q 38 大雨が降ったとき、川の水が普段より増えることを何といいますか？

1. 洪水 2. 濁水 3. 増水

こたえ 3

大雨などによって、川を流れる水の量が普段よりも多くなることを増水といいます。増水がさらに進み、水が川からあふれ出すことを洪水といいます。

Q 39 川が山地から平地に出るところに、土砂が扇状に堆積してできた地形を何といいますか？

1. 三角州 (さんかくす) 2. 扇状地 (せんじょう  
ち) 3. 海岸

こたえ 2

川が山から平野部に出ると、急に流れがゆるやかになるため、運んできた土砂 (特にれきや砂) が扇を広げたような形に堆積します。このような地形を扇状地といいます。

Q 40 川が海や湖に流れ込むところに、細かい土砂が積もってできた三角形に近い形の地形を何といいますか？

1. 扇状地 (せんじょう  
ち) 2. 三角州 (さんかくす) 3. 砂丘 (さきゅう)

こたえ 2

川が海や湖に流れ込む河口付近では、流れがほとんどなくなるため、運ばれてきた細かな砂や泥が堆積します。これが長年繰り返されると、ギリシャ文字のデルタ ( $\Delta$ ) のような三角形に近い形の土地ができ、これを三角州といいます。

Q 41 食塩が水に溶けて、透明な液体になったものを何といいますか？

1. 食塩 2. 水溶液 3. 混合物

こたえ 2

食塩のように、ものが液体 (水など) に溶けて、全体が均一になった液体を水溶液といいます。食塩水の場合、食塩が溶質、水が溶媒です。

Q 42 ものが水に溶けて、全体が均一で見えなくなる現象を何といいますか？

1. 溶解 (ようかい) 2. 蒸発 (じょうはつ) 3. ろ過 (ろか)

こたえ 1

固体、液体、気体が、別の液体 (溶媒) の中に分子レベルで混ざり合い、均一な液体 (溶液) になる現象を溶解といいます。水に食塩が溶けるのは溶解の一例です。

Q 43 食塩水は、ろ紙を使った「ろ過」で食塩と水に分けることができますか？

1. できる 2. できない 3. 温めればできる

こたえ 2

ろ過は、液体に溶けていない固体の粒を取り除く方法です。食塩水では、食塩は水に完全に溶けて目に見えない小さな粒子 (イオン) になっているため、ろ紙の小さな穴を通り抜けてしまい、ろ過では分離できません。

Q 44 水に溶けているものを何といいますか？

1. 溶媒 (ようばい) 2. 溶液 (ようえき) 3. 溶質 (ようしつ)

こたえ 3

水溶液において、水に溶けている物質 (食塩、砂糖、ミョウバンなど) のことを溶質といいます。溶かしている液体 (水など) は溶媒、溶質が溶媒に溶けた液体全体を溶液といいます。

Q 45 ものを溶かしている液体 (食塩水の場合は水) を何といいますか？

1. 溶質 (ようしつ) 2. 溶媒 (ようばい) 3. 溶液 (ようえき)

こたえ 2

水溶液において、溶質を溶かしている液体 (水など) のことを溶媒といいます。食塩水の場合は水が溶媒、食塩が溶質にあたります。